

② “ボランティア活動の支援”を行います。

- 「ボランティアといっても活動資金が必要だしな」
- 「自分たちのボランティア活動をもっと活発にしたいな」
- 「ボランティア活動の専門性を高めたいな」
- 「ボランティア活動グループ同士と交流がしたいな」



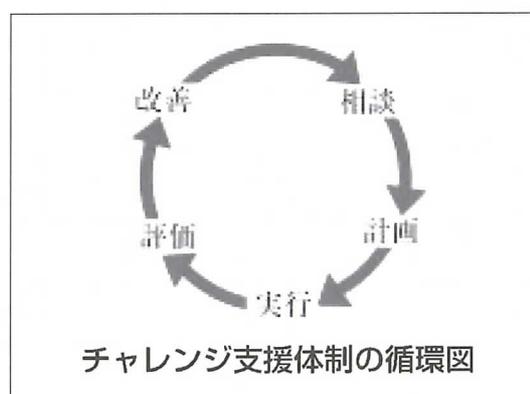
2-1 ボランティアの声を聞くアンテナづくりを行います。

登録ボランティア等と日常的に「顔の見える」関係をつくり、そこから得た情報に基づき“活動支援”を行います。

たとえば…

- ・窓口、電話、出前型相談の実施。
- ・ボランティア活動現場の取材。
- ・チャレンジ支援体制づくり。

※フットワーク（行動力）を活かした「相談」⇒「計画」⇒「実行」⇒「評価」⇒「改善」までのボランティア活動の支援体制づくり。



2-2 ボランティア活動のための環境をつくります。

登録ボランティア等が自分たちの思いを実現するために、利用可能な「もの」や「情報」を有効に活用し“活動支援”を行います。

たとえば…

- ・センターの貸館。
- ・センター事務機材の貸し出し。
- ・ボランティア活動助成金情報の提供・申請に関する相談。
- ・ボランティア保険の対応。
- ・ボランティア情報の提供。

2-3 ボランティアの「つどいの場」を提供します。

登録ボランティア等を対象に、「学びの場」「出会いの場」「交流の場」となる「つどいの場」をつくります。ボランティア活動者に必要とされる専門性の習得や、活動者同士が交わり相互の課題や情報の共有を図ることで、活動の発展につながるための“支援”を行います。

たとえば…

- ・ボランティアスキルアップ講座の開催。
- ・ボランティア活動分野ごとの専門性や情報共有の場づくり。
- ・ボランティア同士の交流の場づくり。
- ・ボランティアの活動発表の場づくり。
- ・視察、研修の相互の受け入れ。



※あやべボランティアフォーラム2010

2-4 ボランティア団体の運営を支援します。

登録ボランティア団体等の運営に関する悩みや課題に対して、解決策や軽減策また新たな方法や展開を共に考え、ボランティア活動の“支援”を行います。

たとえば…

- ・ボランティアの担い手づくりを目的とした、研修・講座の開催。
- ・ボランティアリーダー研修会の開催。
- ・相談会の開催。

2-5 ボランティア活動の将来を見据えた「新たなしくみづくり」につながる活動支援を行います。

登録ボランティア活動等の実績や社会的な必要度に応じて、行政、民間、地域などの役割を明確にするための「手立て」を共に考え「提案」等の“支援”を図ります。

たとえば…

- ・新たな活動計画づくり。
- ・関係機関との調整。
- ・窓口、電話、出前等の各種相談。



※パーキンソン患者リハビリ教室